

令和2年度

事業報告書

一般財団法人 日本交通安全教育普及協会

I	研修・教育活動	
	1. 交通安全教育指導者等養成活動	
	(1) 交通安全教育指導者研修会の開催	3
	(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催	3
	(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施	4
	(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催	4
	(5) 地域連携型高校生向け自転車交通安全教育推進事業の実施	5
	(6) 高齢運転者交通安全推進事業の実施	6
	2. 交通安全教育指導者等支援活動	
	(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催	6
	(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施	6
	(3) 講師派遣の実施	7
	3. 交通安全教育啓発活動	
	(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした 移動型交通安全啓発活動の実施	7
	(2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施	7
	(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施	7
	(4) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施	8
	(5) 自転車安全利用講習会の実施	8
	(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施	8
	(7) 国際協力による教育普及活動の実施	8
	(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進	9
II	調査研究活動	9
III	情報収集提供活動	
	1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行	10
	2. ホームページによる情報の発信及び収集	10
IV	教材の制作・普及事業	
	1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及	10
	2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施	10
	3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及	10
V	基本財産の運用	11
VI	会議の開催	
	1. 理事会	11
	2. 評議員会	11
	3. その他	11

I 研修・教育活動

交通安全教育の担い手である指導者等の養成と指導力・資質の向上を目的として研修・支援を行うとともに、子供や高齢者、一般市民等の交通参加者を対象に、交通安全意識の向上と安全な交通行動の実践化を図ることを目的として交通安全教育啓発活動を実施した。

1. 交通安全教育指導者等養成活動

(1) 交通安全教育指導者研修会の開催

交通安全教育に携わる行政担当者、交通指導員等を対象に、指導者としての資質向上を目的とした研修会を、内閣府の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインで開催した。

①開催日 令和3年2月15日(月)～2月16日(火)(2日間)

②実施方法 ZOOMを活用したオンライン研修会

③テーマ 「子どもと高齢者に対する効果的な交通安全教育」

④内 容 【1日目研修】13:00～16:25

○講義1「小学校低学年児童の交通安全に関する基礎的研究

～7歳児の交通事故発生件数に着目して～」

講師：金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系 准教授 藤生 慎氏

○講義2「超高齢社会における交通事故の本質と対策」

講師：山梨大学大学院総合研究部 安全医工学研究室 教授 伊藤 安海氏

○実践発表1「小学校における交通安全教育の実践

～コロナ禍における安全教育研究校の取組を中心に～」

発表者：(一財)日本交通安全教育普及協会 主幹 大木 裕史

【2日目研修】9:30～15:50

○講義3「コロナ禍に対応した交通安全教育について」

講師：(一財)日本交通安全教育普及協会 係長 井澤 夕里

○実践発表2「交通安全教育に関する実践発表と開発教材の紹介」

発表者：(一財)長野県交通安全教育支援センター

○実践発表3「飲酒運転の防止・悲しみは果てしなく」

発表者：新潟県聖籠町生活環境課

○班別協議・全大会

⑤参加者 44名

(2) チャイルドシート指導員養成研修会の開催

チャイルドシートの正しい知識の定着と使用の促進を目的として、チャイルドシートに関する法的・技術的知識、正しい装着方法など専門的知識を修得した指導者を養成するための研修会を、内閣府、警察庁及び国土交通省の後援を得て、新型コロナウイルス感染症予防のため、eラーニング方式を活用してオンラインで開催した。

①開催日 令和3年3月8日(月)～3月19日(金)

②実施方法 eラーニング方式を活用したオンライン研修会

③内 容 ○チャイルドシートと幼児について(医学的見地から)

○道路交通法について(チャイルドシートの使用義務)

○チャイルドシートの技術基準

○チャイルドシートの基礎知識

○チャイルドシートの正しい取付け方法

④参加者 117名

(3) スーパーアドバイザー養成研修の実施

自動車教習所指導員を対象に、交通安全教育を実施できる企画力と教育能力を備えた人材の養成を目的としたスーパーアドバイザー養成研修（延べ5日間）を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を中止した。

(4) 高校生向け自転車安全教育インストラクター認定及び更新講習会の開催

自動車教習所指導員を対象に、高等学校の自転車安全教育の充実に寄与することを目的として、高校生に対する自転車安全教育における効果的な手法や知識を習得したインストラクター養成のための講習会を新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインで開催した。

受講後、一定の要件を満たした者には、当協会から「高校生向け自転車安全教育インストラクター」認定証を交付するとともに、1事業所に3名以上の認定者がいる事業所については、適正な活動を行う旨の誓約書の提出をもって「高校生向け自転車安全教育団体」として認定をした。

また、認定者のレベルアップを図ることを目的とした中級、上級認定更新講習会を新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインで開催した。

【認定講習会】

①開催日 令和2年11月26日（木）～令和2年11月27日（金）（2日間）

②実施方法 ZOOMを活用したオンライン講習会

③内 容 【1日目講習】10:30～16:30

○講義1「高等学校における交通安全教育の現状と進め方について」他

講師：（一財）日本交通安全教育普及協会

○講義2「自己理解を促すためのディスカッション手法（理論・実演）」

講師：東北工業大学 教授 小川 和久氏

（株）ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

○講義3「屋外で実施する自転車教育の手法等について」

講師：（株）ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

【2日目講習】10:30～16:30

○講義4「自転車の交通ルールについて」

講師：（一財）日本交通安全教育普及協会

○協議「ディスカッション（屋内）及び自転車実技（屋外）の指導案作成」「実演リハーサル」

○実演「ディスカッション」、「自転車実技（事故再現と正しい走行等）」

○筆記テスト

④参加者 12名

【中級更新講習会】

①開催日 令和2年11月12日（木）～11月13日（金）（2日間）

②実施方法 ZOOMを活用したオンライン講習会

③内 容 【1日目講習】10:30～16:30

○講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」等

講師：（一財）日本交通安全教育普及協会

○講義2「コーチング技法の基礎理論と実践」

・アイスブレイク ・傾聴の技法 ・オープンクエスション 等

講師：（株）ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

- 協議1「コーチング技法展開協議（事故はなぜ起きた？）」
講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

【2日目講習】10:30～16:30

- 協議2「コーチング技法展開協議（実践を想定したシナリオ案作成）」
- 実演「コーチング技法実践（グループディスカッションの展開）」
講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏

④参加者 8名

【上級更新講習会】

①開催日 令和2年11月19日（木）～11月20日（金）（2日間）

②実施方法 ZOOMを活用したオンライン講習会

③内容 【1日目講習】10:30～16:30

- 講義1「高等学校における自転車教育事例紹介」
講師：(一財)日本交通安全教育普及協会
- 協議1「オンラインで行う自転車安全教室 指導案・シナリオ作成」
- 実演1「オンラインで行う自転車安全教室の実演（個人）」
- 講義2「コーチングメソッド(マイクロコーチング等)を活用した教育手法」
講師：(株)ムジコ・クリエイト東京営業所 所長 野藤 智氏
- 協議2「実践を想定した指導案・シナリオ案作成」

【2日目講習】10:30～16:30

- 協議3「実践を想定した指導案・シナリオ案作成」
- 実演2「オンラインで行う自転車安全教室の実演(グループ)」
- 協議4「実演内容の改善点について」

④参加者 4名

(5) 地域連携型高校生向け自転車交通安全教育推進事業の実施

(一社)日本自動車工業会からの委託を受けて、高等学校における自転車教育を自動車との安全な共存を目指したプレドライバ教育として位置付け、山形県において教育委員会・高等学校・自動車教習所と連携し、参加・体験型の自転車教室モデル事業の実施を支援した。

①山形県における高校モデル事業の実施支援

(教育委員会・高等学校・自動車教習所と連携した参加型の自転車教室)

令和2年10月13日（火） 飽海地区の高等学校計4校 代表生徒16名

(教習所) 出羽自動車教習所

令和2年10月29日（木） 山形県立天童高等学校 1年生 157名

(教習所) 天童自動車学校

令和2年11月4日（水） 山形県立左沢高等学校 1年生 38名

(教習所) 平野学園自動車学校

②実施方法

新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度までとは異なる以下の体制での実施とした。

- 山形県教育委員会は主として関係各機関の連絡・調整を担当
- 当協会は現地には行かず、教習所・学校に対し、実施内容の企画・指導案の送付・助言等の開催支援を担当
- 実施教習所はモデル事業の実施を担当

(6) 高齢運転者交通安全推進事業の実施

内閣府からの委託を受けて、地域のシルバーリーダーを対象に、指導力向上と高齢運転者の交通事故防止に必要な知識や技能を習得するための講習会を千葉県と兵庫県の2会場で実施した。

(新型コロナウイルス感染症予防のため、会場の広さ等を踏まえ参加者の人数制限を行った)

- ①会場 【千葉県会場】令和2年11月16日(月)
柏南自動車教習所(千葉県柏市) 8名
【兵庫県会場】令和2年11月20日(金)
阪神自動車学院(兵庫県伊丹市) 18名
- ②実施内容 ○安全運転実技(コース)
○車の特性と機能、セーフティサポートカー(コース)
○健康体操、身体機能の自己診断(教室)
○認知・判断力の自己診断(教室)
○危険予測学習(教室)
○道路交通法及び免許返納時の移動手段支援(教室)
○高齢ドライバー地域講習会の進め方の企画案作成(教室)
○全体討議(教室)

2. 交通安全教育指導者等支援活動

(1) 学校における交通安全教育に関する協議会の開催

都道府県教育委員会並びに政令指定都市教育委員会の交通安全教育担当者等を対象に、今後の安全教育の方向性を探り、その成果の普及を図ることを目的として、文部科学省の後援を得て、講義及び子供の交通事故実態等を踏まえた重要課題についての協議、意見・情報交換等を内容とする協議会を新型コロナウイルス感染症予防のため、オンラインで開催した。

- ①開催日時 令和2年7月30日(木) 13:30~16:00 17名参加
- ②実施方法 ZOOMを活用したオンライン協議会
- ③内容 ○講義と質疑応答「これから求められる交通安全教育」
講師：文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室 安全教育調査官 森本 晋也氏
- 活動紹介「感染症防止を配慮した高等学校における自転車安全講習モデル授業(兵庫県立東播磨高等学校)等を含めた活動紹介」
発表者：普及事業部係長 井澤 夕里
- 協議「学校に求められる交通安全教育」
- 意見・情報交換
休校中の交通事故への対応や学校再開後の新型コロナウイルス感染を予防した安全教室実施の工夫等も含め、学校における「新しい日常」の中での効果的な交通安全教育について有識者を交えた協議

(2) 各種認定者との連携による地域交通安全モデル事業の実施

当協会の各種認定(スーパーアドバイザー、高校生向け自転車安全教育インストラクター)を受けた自動車教習所指導員及び自動車教習所の実践力を高め、地域の交通安全に貢献することを目的として、地域密着型の交通安全モデル事業を2県(兵庫県・三重県)4か所で予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を中止した。

(3) 講師派遣の実施

自治体や関係機関・団体及び民間企業等からの要請により、児童・生徒から高齢者までの対象者に合わせた交通安全講習会や啓発イベントへ職員等の講師を派遣した。

3. 交通安全教育啓発活動

(1) 高齢運転者及び自転車運転者の交通事故防止を目的とした移動型交通安全啓発活動の実施

J A 共済連からの委託を受けて、地域で実施されるイベント等に自動車及び自転車の交通事故防止を目的に、交通安全危険予測シミュレータ等を搭載した車両及び指導員を派遣した。

(新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅にイベント等の回数が減少)

①自動車シミュレータ体験車 派遣回数 12回

②自転車シミュレータ体験車 派遣回数 14回

(2) 児童及び高齢者を対象にした歩行者向け交通安全講習会の実施

東京都からの委託を受けて、児童とその保護者、及び高齢者を対象に「歩行者向けの交通安全危険予測シミュレータ」を活用した講習会や啓発イベントを実施した。

(新型コロナウイルス感染症の影響により、特にイベント、高齢者向けの回数が減少)

①小学生向け (実施回数 81回 都内の小学校 81校)

プログラム ○交通安全クイズ (信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験 (横断歩道等の渡り方、危険予測学習)

講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

②幼稚園・保育園向け (実施回数 4回 都内の幼稚園・保育園 4校)

プログラム ○交通安全クイズ (信号の意味、飛び出しの危険)

○歩行シミュレータ実技体験 (横断歩道等の渡り方、危険予測学習)

講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

③高齢者向け (実施回数 4回)

プログラム ○認知・判断力診断

○歩行シミュレータ実技体験 (道路の横断の仕方、危険予測学習)

講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

④啓発イベント (実施回数 1回)

プログラム ○歩行シミュレータ実技体験 (対象者に合わせてコース選定)

指導者 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

(3) 児童・生徒及び高齢者を対象にした自転車交通安全教室の実施

東京都からの委託を受けて、児童・生徒とその保護者、及び高齢者を対象に「自転車の交通安全危険予測シミュレータ」を活用した教室や啓発イベントを実施した。

(新型コロナウイルス感染症の影響により、特にイベント、高齢者向けの回数が減少)

①小・中・高校生向け (実施回数 128回 都内の小・中・高等学校 128校 参加者数 11,694人)

プログラム ○交通ルールに関する講義 (自転車安全利用五則、ヘルメットの着用、点検の重要性、事故発生時の義務)

○自転車シミュレータ実技体験 (交差点の通行方法、危険予測学習)

講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

②高齢者向け (実施回数 1回 参加者数 20人)

プログラム ○交通ルールに関する講義 (自転車安全利用五則、非注意性盲)

○自転車シミュレータ実技体験 (交差点の通行方法、危険予測学習)

講師 (一財) 日本交通安全教育普及協会 等

③啓発イベント（実施回数6回 参加者数255人）

プログラム ○自転車シミュレータ実技体験（対象者に合わせてコース選定）

指 導 者 （一財）日本交通安全教育普及協会 等

(4) 自転車交通安全教育地域一体型プロジェクトの実施

埼玉県内においてブリヂストンサイクル（株）の協力・支援の下、行政・関係機関と連携した、当協会が開発した自転車シミュレータを活用する参加・体験型の自転車交通安全教室を、児童対象6回、高齢者対象1回の計7回実施した。

【児童対象】

令和2年10月8日（木）上尾市立富士見小学校 3年生 113名

令和2年10月9日（金）上尾市立平方東小学校 3・4年生 80名

令和2年10月19日（月）上尾市立大石北小学校 3年生 122名

令和2年11月12日（木）さいたま市立海老沼小学校 4年生 101名

令和2年11月16日（月）上尾市立尾山台小学校 1～6年生 220名

令和2年11月19日（木）上尾市立東町小学校 3年生 108名

内容：自転車の安全な乗り方（座学）、シミュレータによる危険予測体験学習、まとめ

【高齢者対象】

令和2年10月20日（火）さいたま市シルバー人材センター 大宮事務所 30名

内容：講義「自転車を安全に乗るために」、

体験学習「シミュレータ危険予測学習」「体力診断」

(5) 自転車安全利用講習会の実施

東京都武蔵野市からの委託を受けて、一般市民を対象に、自転車事故の発生状況や安全な乗り方等についての講義を内容とする自転車の安全利用のための講習会を実施した。

令和2年度は、合計16回、591名が受講し、講習会終了後に自転車安全利用認定証の交付、反射材配付、市民にはTSマーク助成券の交付等を行った。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により対面式講習会が開催しにくい状況の中でも広く自転車安全利用を啓発するために「自転車安全利用啓発動画（全7編）」を作成し、「武蔵野市動画チャンネル（YouTube）」で公開した。今後、動画は市庁舎1階ロビーのマルチビジョンや街頭でのデジタルサイネージでの公開を予定している。

その他に、幼児～小学2年生を対象とした自転車安全利用啓発チラシを4種（PDFデータ）作成した。

(6) 緊急時の対応に関する啓発活動の実施

日本保安炎筒工業会との連携・協力により、交通事故・二次災害等の減少に資することを目的として、発炎筒の使用方や性能、非常時等における対処方法を普及啓発するためのポスターを5,000枚制作し、全国の都道府県、政令指定都市、警察本部、各高速道路（株）等に配布した。

(7) 国際協力による教育普及活動の実施

令和元年度に採択されているJICA草の根技術協力事業におけるミャンマー連邦共和国での「ヤンゴン市における子供を対象とした交通安全教育指導者養成事業」について令和2年度末より実施する予定であったが、ミャンマーにおいて緊急事態宣言が発令され、国内情勢が不安定となっているため、事業実施を延期することとした。

(8) 関係機関と連携した交通安全教育啓発活動の推進

交通安全教育の普及を目的に、下記のとおり、関係機関と連携した活動を推進した。

①シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会の事務局

関係省庁、団体等官民一体となって国民のシートベルトとチャイルドシートの着用推進啓発活動を行っている「シートベルト・チャイルドシート着用推進協議会」の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

②交通安全フォーラム推進協議会の事務局

国民の交通安全意識を高揚することを目的とした交通安全フォーラム（内閣府及び開催地の都道府県・市主催、関係省庁後援、関係団体協賛）の推進協議会の活動に協力するとともに、同協議会の事務局を担当した。

日 時 令和3年1月22日（金） 14:00～16:30

場 所 東京都／新型コロナウイルス感染症予防のため、集客せずオンラインで配信

テ ー マ 安全に移動できる地域を目指して

内 容 ○基調講演「安全に移動できる地域を目指して」

埼玉大学大学院理工学研究科 教授 久保田 尚氏

○パネルディスカッション

蓮花 一己氏（帝塚山大学学長 心理学部教授）

川端 由美氏（自動車ジャーナリスト）

椎名 啓雄氏（警視庁交通部管理官 交通規制課都市交通管理室長）

久保田 尚氏（埼玉大学大学院理工学研究科教授）

③全国交通安全運動への参加

官民一体となって実施している「春・秋の全国交通安全運動」に協賛団体として参加・協力を行った。

④交通安全ファミリー作文コンクールの実施

警察庁及び関係団体との共催により、「我が家の交通安全」をテーマにして各家庭における交通安全に関する話し合いを進めることを通じ、国民1人1人の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に資することを目的とした交通安全ファミリー作文コンクール（42回目）を実施した。

令和2年度は、小学生626点、中学生3,563点、合計4,189点の応募となった。

なお、一般の部については今回から未実施となった。

II 調査研究活動

効果的な交通安全対策、事業の企画・実施に資することを目的として、令和2年度は、「①小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の効果や安全意識等の定着」及び「②二輪車通学許可校支援事業における効果測定」について調査を実施した。

①小学校3年生以上の児童を対象とした自転車安全教室の効果や安全意識等の定着の調査

児童を対象とした自転車安全教室の手法について、知識や安全意識の定着度の観点から効果測定を行い、その結果を踏まえた教育現場で活用できる望ましい自転車安全教室の指導方法の在り方を探るために調査を実施した。

調査では、自転車シミュレータを活用した危険予測学習、自分と他者の安全を守るための適切な行動について児童が主体的に考える手法を取り入れた交通安全学習、障害の特性を配慮した特別支援学級での指導は、児童の興味・関心を高め、知識や安全意識の向上に効果的であることが分かった。

また、教職員が一体となって、様々な試行錯誤を行いながら、継続的に学習活動を行うことが知識や安全意識の定着につながることも実感できた。

②二輪車通学許可校支援事業における効果測定の調査

原付通学許可生徒に対して効果的な安全運転教育を実施し、事故の未然防止を図ることを目的に、高校教職員、自動車教習指導員等に対する研修を10年以上に亘り実施してきた。

これまでの事業の効果測定を行い、事業継続の必要性を明確化するために調査を実施した。

調査では、受講した高校教職員、自動車教習指導員のほとんどが交通安全教育の取り組みに対する意識に変化があったと回答し、受講した内容を日頃の交通安全指導に活用していることが分かった。

また、高等学校と地域の交通安全教育センターの役割を担う自動車教習所との連携についても双方ともに今後は検討したいとの前向きな意見がみられた。

Ⅲ 情報収集提供活動

主として行政や教育現場、地域や職場において交通安全教育に携わっている担当者等に対し、交通安全教育等を推進する上で有益かつ実践的な情報を提供するとともに、当協会の活動内容やタイムリーな交通安全情報等を広く国民一般に向けて発信することを目的として、下記のとおり、2種類の活動を実施した。

1. 月刊誌「交通安全教育」の編集・刊行

交通安全に関する対策や指導方法、具体的な教育指導事例等を掲載した月刊誌「交通安全教育」を毎月編集・刊行した。

2. ホームページによる情報の発信及び収集

ホームページのリニューアルやフェイスブック、新たに開設したツイッターなどのSNSの積極的な活用を通して、広く交通安全教育や各種教材・教具等に関する情報を発信するとともに、双方向的に全国からの情報の収集に努めた。

Ⅳ 教材の制作・普及事業

1. 交通安全教育啓発資料・機材の開発及び普及

既存の交通安全教育啓発資料・機材について、交通事故の経年変化や道路交通法の改正等に対応して、適宜、資料・教材の改訂を行うとともに、全国の自治体、関係機関・団体等に対する訪問活動やホームページ・SNS・DM等の媒体を活用した広報活動を通して、広く周知を図り、各種の交通安全活動を効果的に進める上での有効活用を普及促進した。

また、「交通安全危険予測シミュレータ」歩行者編及び自動車編に新しいコースやプログラムを追加するとともに、「交通安全危険予測VR」自動車編を新たに開発し、様々な対象や機会での普及の拡大を図った。

2. 教育啓発資料の監修・指導等の実施

関係機関・団体及び民間企業等が企画・制作する交通安全啓発用資料・教材に対して、要請に応じて企画・監修・指導等を行った。

3. 児童及び自転車通学者向け高視認性安全服認証及び推奨制度の普及

「子どもたちを交通事故から守り、ドライバーを加害者にしない」ことを目的として、ドライバーから児童や自転車通学者の視認率を高めるための高視認性安全服の着用普及を図るために、「児童及び自転車通学者向け高視認性安全服」に対して交通事故防止の観点から基準を設け、基準に適合した製品を認証するとともに、その証として認証ラベルを発行した。

- ①認証・推奨数 認証件数 7 件、推奨件数 15 件（令和 3 年 3 月 31 日現在）
②ラベル発行数 認証ラベル 16,282 枚、推奨ラベル 104,760 枚（令和 3 年 3 月 31 日現在）

V 基本財産の運用

当協会の健全な運営を進めるためには、安定した財政基盤が不可欠であることから、所有ビルを賃貸するなど、基本財産等の運用に関する事業を引き続き実施し、その運用益の確保に努めた。

VI 会議の開催

以下のとおり、理事会、評議員会等を開催した。

1. 理事会

- (1) 期日 令和 2 年 7 月 16 日（木）
会場 新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議とした
議題 第 1 号議案 令和元年度事業報告書（案）の承認について
第 2 号議案 令和元年度貸借対照表及び正味財産増減計算書（案）の承認について
第 3 号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書（案）の承認について
第 4 号議案 定款の一部改正（案）について
第 5 号議案 定時評議員会の開催（案）について
第 6 号議案 役員候補者の評議員会への推薦（案）について
第 7 号議案 顧問・相談役・参与の委嘱（案）について
第 8 号議案 代表理事及び執行理事の職務執行状況の報告について
- (2) 臨時理事会（書面による決議）
期日 令和 2 年 7 月 28 日（火）
議題 第 1 号議案 理事長及び専務理事の選定に関する件
第 2 号議案 事務局長の任命の承認に関する件
- (3) 期日 令和 3 年 3 月 16 日（火）
会場 新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議とした
議題 第 1 号議案 令和 3 年度事業計画（案）の承認について
第 2 号議案 令和 3 年度収支予算（案）の承認について
第 3 号議案 顧問・相談役・参与の委嘱の追加・変更（案）に関する件
第 4 号議案 代表理事の職務執行状況の報告について

2. 評議員会

- 期日 令和 2 年 7 月 28 日（火）
会場 新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議とした
議題 第 1 号議案 令和元年度事業報告について
第 2 号議案 令和元年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
第 3 号議案 令和元年度公益目的支出計画実施報告書について
第 4 号議案 定款の一部改正について
第 5 号議案 評議員の選任について
第 6 号議案 役員の選任について

3. その他

ほぼ 1 か月に 1 回の割合で、代表理事・事務局による定例会議を開催し、業務の執行等について連絡協議を行った。